

# 議会だより

みなみふらの



7月11日 落合地区しめ縄作り

この写真の説明は最終ページをご覧ください

第2回定例会概要	P 2	～	P 3
一般質問	P 4	～	P 5
第2回臨時会概要	P 5	～	P 8
研修会報告	P 8	～	P 9
委員会レポート	P 9	～	P11
議会の動き			P12



# 令和7年第2回定例会

令和7年6月18日～20日



令和7年第2回町議会定例会は、6月18日に召集され、会期を18日から20日までの3日間と決めた後、行政報告、教育行政報告、議会運営委員会報告、総務常任委員会報告があり、1議員による一般質問が行われた後、繰越明許費繰越計算書及び株式会社南富良野町振興公社の経営状況についての報告を受けました。引き続き、議案3件について審議の結果、原案のとおり可決し、1日目を終了しました。

最終日の6月20日は、議案7件について審議の結果、原案のとおり可決しました。その後、議員提出による意見書案1件についても審議の結果、原案のとおり可決し、全ての日程を終え、定例会を終了しました。

七番 大西知幸

## 議案の賛否一覧表

上程議案	結果	議								
		1番 十河	2番 鷹嘴	3番 小野	4番 古橋	5番 渋谷	6番 曾慶	7番 大西	8番 酒井	
議案第1号	令和7年度南富良野町一般会計補正予算	可決(6/18)	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号	令和7年度南富良野町簡易水道事業会計補正予算	可決(6/18)	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	令和7年度南富良野町公共下水道事業会計補正予算	可決(6/18)	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	工事請負契約について(鹿越大橋橋梁補修工事)	可決(6/20)	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第5号	工事請負契約について(公営住宅幾寅東団地改修工事)	可決(6/20)	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第6号	工事請負契約について(南富良野浄化センター水処理棟外壁屋上改築工事)	可決(6/20)	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第7号	財産の取得について(庁用備品(ノートパソコン等 1式))	可決(6/20)	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第8号	財産の取得について(町内小・中学校 ICT 端末 1式)	可決(6/20)	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第9号	財産の取得について(中学校情報通信機器 1式)	可決(6/20)	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第10号	財産の取得について(高等学校情報通信機器 1式)	可決(6/20)	○	欠	○	○	○	○	○	-

議：議長・副：副議長

・庁舎修繕料(水道管漏水修理等)  
369万円

### 一般会計補正予算の主なもの

令和7年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	△2,609万円	53億5,115万円
国民健康保険事業特別会計	-	2億9,395万円
後期高齢者医療事業特別会計	-	4,734万円
介護保険特別会計	-	3億1,942万円
町立診療所事業特別会計	-	1億1,302万円
簡易水道事業会計	574万円	3億1,519万円
公共下水道事業会計	252万円	3億478万円
合計	△1,783万円	67億4,485万円

- ・総合行政システム標準化業務委託料  
△7788万円
- ・文書管理システム導入委託料  
2004万円
- ・町税等過誤納還付金  
182万円
- ・定額減税補足給付金事業  
846万円
- ・畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業補助金  
1084万円
- ・普通旅費  
18万円
- ・特定空家解体工事  
677万円

**意見書について**

地方自治法第99号の規定により次の意見書が提出され、可決されました。

「ゼロカーボン北海道の実現に質する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書」

本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成する目標に向け、活力ある森林づくりや道産木材の利

※議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係機関に提出しています。

**閉会中の継続調査**

用、防災・減災対策を一層進めるため、ゼロカーボン北海道の実現に質する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図れるよう求める。

次の4件について閉会中の継続調査をすることになりました。

- ・ログホテルラーチの施設移譲について
- ・介護老人福祉施設のあり方について
- ・社会福祉協議会への支援について
- ・富良野協会病院への支援について

■工事請負契約（3件）

契約の目的	鹿越大橋橋梁補修工事	公営住宅幾寅東団地改修工事	南富良野浄化センター水処理棟外壁屋上改築工事
契約の方法	条件付一般競争入札による契約	単体型一般競争入札による契約	単体型一般競争入札による契約
契約金額	129,107,000円 (うち消費税及び地方消費税の額11,737,000円)	60,500,000円 (うち消費税及び地方消費税の額5,500,000円)	53,130,000円 (うち消費税及び地方消費税の額4,830,000円)
契約の相手方	吉岡建設・南富林建 特定建設工事共同企業体	小松建設工業株式会社 代表取締役 小泉 憲勝	株式会社永井工務店 代表取締役 永井 敏広

■財産の取得（4件）

取得しようとする動産	庁用備品（ノートパソコン等） 1式
取得金額	18,629,600円（うち消費税及び地方消費税の額 1,693,600円）
取得先	株式会社 サイトー 代表取締役 友田 孝
取得しようとする動産	町内小・中学校ICT端末 1式
取得金額	13,029,500円（うち消費税及び地方消費税の額 1,184,500円）
取得先	東日本電信電話株式会社 執行役員 北海道事業部長 茂谷 浩子
取得しようとする動産	中学校情報通信機器 1式
取得金額	15,796,000円（うち消費税及び地方消費税の額 1,436,000円）
取得先	北海道市町村備荒資金組合 組合長 棚野 孝夫
取得しようとする動産	高等学校情報通信機器 1式
取得金額	11,550,000円（うち消費税及び地方消費税の額 1,050,000円）
取得先	北海道市町村備荒資金組合 組合長 棚野 孝夫

# 一般質問 1名の議員が町政に質問！

質問議員	担当課	質問事項	頁
大西 知幸 議員	【企 画 課】	北海道遺産の指定について	4・5

**問 金山ダムは北海道遺産に指定される価値があるのではないか**

**答 関係機関と協議を進めながら慎重に検討していく**



**大西** 北海道遺産は、次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の中から北海道民全体の宝物として選ばれたものであり、金山ダムは中空重力式コンクリートダムで堤体内部から構造を見学する事ができ、これは全国的にも珍しい施設で、今後このような施設が新たに建設される可能性は低いといわれており、北海道内では唯一金山ダムのみがこの特徴を有している。北海道開発局とも協議を必要とするが、これらを考えると北海道遺産に指定を受けると価値があると思うが町長の考えを伺う。

YOU TUBE 配信：一般質問の配信時間を表示しています。

**町長** 金山ダムは、昭和33年に北海道総合開発計画の一環として建設が計画され、食料増産のための灌漑用水の確保、洪水被害の軽減、電源開発、さらには飲料水の供給などを目的とした多目的ダムとして、昭和42年に完成した。建設当初は住民の反対も多かったものの、時代の変化と共に建設が進められ、町の歴史の中でも大きな出来事となった。構造面では、北海道で初めて中空重力式が採用されたダムであり、技術的にも価値が高いと考えている。したがって、金山ダムは歴史的・技術的にも北海道遺産にふさわしい可能性がある。私も感じている。ただし、北海道遺産の選定には、地域住民が主体となった保全・活用活動が伴うことが求められており、現役のインフラ施設であるダムがその要件を満たせるかどうか、また、指定を受けることによるメリット・デメリットも慎重に検討する必要がある。現段階では、



関係機関とも協議を重ね、要件や影響を丁寧に見極めていきたいと考えている。検討の進捗については、報告しながら進めていく。

**大西** 私はさらに一歩踏み出して北海道遺産への指定に向けた前向きな対応をお願いしたい。北海道遺産の選定基準には、学術的・美的価値だけでなく、地域が保全・活用に取り組んでいることも重視される。本町では「金山湖水まつり」や「桜まつり」などのイベントでダム見学会が実施され、地域との関わりも深まっている。金山ダムは、道内で唯一内部見学ができるダムであり、年間利用者数も全国の国土交通省所管ダムで第3位という高い実績がある。

かなやま湖金山ダム

また、「ダム湖百選」や「土木学会選奨土木遺産」にも選ばれており、価値は十分にあると考えている。以上の実績を踏まえ、検討段階にとどまらず、ぜひ具体的な行動をお願いしたい。

**町長** 金山ダムは現役のインフラ施設であり、今後も維持管理や改修が必要となることから、北海道遺産に指定されることで支障が生じないかどうか、慎重に見極める必要がある。

今回のご質問を受け、金山ダム単体だけでなく、かなやま湖や湖水まつりなどの観光活動も含め、地域全体として北海道遺産の要件を満たす可能性があると感じました。

国が推進する「インフラツーリズム魅力増強プロジェクト」では、ダムや橋といったインフラを観光資源として活用し、地域の活性化を図る取組が進められている。金山ダムに関しても、河川事務所に対し、有償化や体験型見学など観光資源化の可能性を相談して

おり、現在は「かわまちづくり」や「MIZBEステーション」との一体的な整備を進めているところである。

北海道遺産への登録が、これらの取組にとって追い風となるのか、あるいは制約となるのかは、今後の動向を見極める必要がある。一方で、認定されることにより金山ダムやダム湖の付加価値が高まり、地域の魅力が向上するのであれば、前向きに取り組んでいきたい。

このため、所管課に対応を指示しており、今後は進捗を確認しながら対応を進めていく。また、登録には費用負担や協議会への加入が伴うため、議会の理解と協力が不可欠である。今後は、所管課から経過を報告し、丁寧に説明を行ったうえで、必要な対応を図っていく。

令和7年第2回  
**臨時会**  
5月16日

令和7年第2回臨時会  
は、5月16日に招集され、提案された議案を原案のとおり承認・可決・同意し閉会しました。

議案の賛否一覧表

上程議案	結果	議								
		1番 十河	2番 鷹嘴	3番 小野	4番 古橋	5番 渋谷	6番 曾慶	7番 大西	8番 酒井	
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度一般会計補正予算)	承認(5/16)	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(南富良野町税条例の一部を改正する条例)	承認(5/16)	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	令和7年度南富良野町一般会計補正予算	可決(5/16)	×	×	×	○	○	○	○	—
議案第4号	南富良野町監査委員の選任について	同意(5/16)	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	南富良野町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決(5/16)	○	○	○	○	○	○	○	—

議：議長・副：副議長  
議案第3号記名投票で採決

専決処分の承認

令和6年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1488万円を追加し、歳入歳出予算の総額を51億4912万円とするものです。

南富良野町税条例の一部改正

地方税法及び地方税法施行令等の一部改正に伴う規定の整備で、公示送達関係では、インターネットを用いる方法の定義を示した省令改正に伴う規定の整備、個人住民税関係では、特定親族特別控除の創設に伴う規定の整備、軽自動車税関係では、種別割の標準税率に係る二輪車の車両区分の見直しに伴う規定の整備等をするものです。

### 令和7年度南富良野町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9150万円を追加し、歳入歳出予算の総額を53億7724万円とするものです。

#### ○補正予算の主なもの

- ・高等学校学生寮管理修繕料 150万円
- ・南富良野高等学校学生寮増設工事 1億9000万円

### 補正予算質疑（高等学校学生寮増設工事予算関係）

#### 【議案第3号】

**没谷** 高校学生寮整備予算に関し、全員協議会での説明を受けたが、議員からは、高校存続の意義やまちづくりにへの効果、計画されている部屋数の多さ、生徒数が減少した場合における民間下宿への影響など、様々な意見が出された。副町長や教育長から一定の説明はなされたものの、部屋数の適正性や生徒数減少時の対応について、町長の所見を改めて求める。

**町長** 全員協議会では様々なご意見をいただいたが、高校の存在意義については、教育は将来の地域や国を支える子どもたちのためのものであり、その教育の場を提する責任が自治体にもあると考える。高校の存続は、まちづくりの費用対効果ではなく、学びの場を守るという教育の原点に立ち返って判断すべきものである。生徒確保に向けた取組としては、通学費助成、資格取得支援、小規模校ならではの魅力づくりなどを進めており、第六次総合計画にも位置づけている。南富良野高校の卒業生は町の担い手としても活躍しており、その存続の意義は地域にとって大きいと感じている。

寮の部屋数については、1学年15人程度の町外生徒を受け入れ、3学年で45人を想定し、その規模で学校運営を維持する必要がある。町有寮15室、民間借上げ13室、里親1件を差し引いた不足分16室を新たに整備する必要があると判断した。もっとも、将来的に部屋が不足するのか、逆に余剰となるのかは現時点では確定できず、不確実性もある。そのため、今後も民間オーナーとの関係を大切にし、町の都合だけで契約を打ち切ることのないよう、丁寧な協議を重ねながら柔軟に対応していく。

#### 古橋

高校授業料の無償化や公立高校の併願受験の導入により、来年度以降の南富良野高校の入学者は不透明な状況にある。そうした中で、毎年15名の入寮者を見込む根拠は、どのように見積もっているのか確認したい。

次に、新寮が空室となった場合には、公営施設として現場職員の独身寮などに転用する可能性も考えられるが、既存の民間下宿との兼ね合いについて、どのように考えているのか伺う。新寮が魅力的であれば、そちらに生徒が流れ、民間下宿の空きリスクが高まる可能性がある。その影響と、町としての対応策を明らかにしていただきたい。

#### 町長

最後に、1億9000万円という大規模な整備事業でありながら、全員協議会での一度の説明にとどまっております。その後の議会での議論は不十分と感じています。計画の策定段階から町と議会が丁寧に協議を重ねるべきと考えますが、町長の所見を伺う。

また、現在の設計では、バス・トイレ・キッチン付きのワンルームが16室設けられているが、共用スペースや食堂が狭く、管理人室もない。防犯面や共同生活の機能性の観点から、設計の再検討や改善の考えはあるのか伺う。さらに、家電や家具などの設備について、町がどこまで整備するのが不明確である。整備内容について、具体的に示していただきたい。

#### 新寮の設計内容について

は、現状のプランがベストな形ではないとの認識があり、共用部や管理体制の課題については、実施設計段階で議会に内容を提示し、意見を聞きながら適切な整備を進める。

設備整備に関しては、生徒の生活環境として必要な内容を町として責任をもつて整える考えであり、詳細は今後具体的に詰めていく。今回の事業は補助金確保も含めて短期間で進めざるを得なかった経緯があり、議会との協議が不十分であった点については反省してお

り、今後は丁寧な説明を行い、議会の意見を踏まえて対応していく。

**教育長** 授業料無償化や公立高校の併願制度導入の影響については、現在道教委が調査を進めており、結果の公表は今後となる。

南富良野高校には、札幌や旭川圏域外からも生徒が来ており、普通科でありながらアウトドア、カヌー、カーリングなど他校にはない独自のカリキュラムに魅力を感じて進学してくる例が多い。

そのため、授業料無償化による大きな志願者減の影響は少ないと見込んでおり、今後も札幌・旭川・近郊地域を中心に、個別訪問を重ね、新たなパンフレットを活用して募集活動を丁寧に継続していく。

寮の共用スペースについては、既存施設の食堂や談話室を活用できるように検討を進め、共同生活に必要な機能が確保されるよう配慮していく。

セキュリティ面についても、居室の間仕切り等を含

め、必要な改善策を具体的に検討する。

家電や家具などの備品については、現段階では詳細未定だが、既存寮で町が備品を整備してきた実績も踏まえ、新寮においても各部屋に応じた必要な備品の整備を町として責任を持って進めていく。

**古橋** 高校を選んでくれる生徒のためにも、寮生活を充実させ、自信を持つて案内できる施設とすることが求められる。議会としても、寮だけでなく高校のあり方全体について、今後も継続して議論していきたい。

**十河** 高校の存続は否定しないが、寮がなければ生徒募集は難しいなら、新設ではなく既存施設の改修も検討すべきと考える。少子化で生徒数の保証はなく、単に集めるだけでは地域定着につながらない。一度立ち止まり、高校の魅力や存続ビジョンを明確に示す必要があると考える。

そこで、寮新設の計画はいつ、どのように立てられたのか確認したい。間取りは他校

の寮を参考にしたのか伺う。整備費のほか設備費の見積もりがあるかも確認したい。税金投入に対する町民の恩恵についても伺いたい。

**町長** 既存施設の改修については、公営住宅が老朽化し、取り壊し予定の建物であるため、改修しても新築と大差ない費用がかかると判断し断念した。学生寮の新設は、短期間で終わる事業ではなく、長期的に安定した環境を整備するために必要であると考えた。親の安心感や生徒募集への影響も踏まえ、教育委員会として新築が適切と判断し、町もその方針を支持した。

学生寮がなくても選ばれる高校づくりの必要性は認識しており、アウトドア教育などの取組が成果を見せ始めている。高校生は地域行事への参加やボランティア活動を深めており、地域への貢献が見られる。高校がまちづくりにとって欠かせない存在になるよう、引き続き教育委員会とともに魅力向上と地域連携に努めていく。

**教育長** 令和3年度に入学者が3人にまで減少したことを受け、高校の魅力化に早期から取り組み、過去4年間の活動が町外や県外からの入学者増加につながっている。取組の一環として、生徒たちが地域に恩返しをする感謝祭や、地域住民を招いた講演会などを実施し、地域に開かれた学校づくりを推進している。こうした活動を今後も継続し、さらに魅力を高めていく方針である。

学生寮については、栗山町の女子ソフトボール部の寮を視察したが、男女両方を対象とした今回の新設計画とは用途や対象が異なる施設であった。現行の南富良野高校の寮は男子と女子で上下階に分かれており、性別による空室や満室の偏りが生じている。入学者数や男女比は年度によって変動するため、柔軟に対応できるよう、今回の新設寮は各部屋に風呂・トイレを備えた個室型とし、男女いづれにも対応可能な構造とする計画である。備品費用は昨年の寮改修時に約500万円を要した実績

があり、今回も同程度の費用を見込んでいるが、具体的な内訳の積算は現時点で行っていない。

**十河** 高校の存続については長期的なビジョンが必要であり、生徒から選ばれる高校となつてから新設しても遅くないと考える。既存の公営住宅だけでなく、金山の福祉施設なども改修対象として検討すべきである。寮での共同生活は人生の貴重な時期であり学びの場だが、ワンルームマンションのような男女混在や仕切りのないフロア構成は多感な高校生には安全面で懸念がある。既存施設や福祉施設の改修で対応可能かどうかについて伺いたい。

**教育長** 遠方から来る生徒の保護者は安心できる生活環境を強く求めている。空き家など管理人のいない不安定な環境では送り出しにくいいため、管理人が常駐し備が必要である。こうした環境整備が入学者増加につながるかと考え、今回の学生寮計画を進めている。

人事案件

4月30日をもって代表監査委員を辞任された森敏範氏の後任を町長が選任するにあたり、議会の同意を求め、議案が提出され、無記名投票の結果、全員の賛成により同意することに決定しました。

○南富良野町監査委員（識見）の選任

・森 直樹氏（1期目）  
 ・任期：令和7年5月16日から令和11年5月15日

議員発議

○南富良野町議会会議規則の一部を改正する規則  
 議員からの質問、質疑に対し、より論点を明確にすることを目的とし、質問、質疑の趣旨や根拠等を議場内で確認できるよう、執行部側の答弁者に反問権を付与するため整備を行うものです。

議員研修参加報告

日程	参加研修名	講師・演題名	報告者
7月8日	北海道町村議会議員研修会	西南学院大学法学部 教授 勢一 智子 氏 「地方議会における議員の多彩化に向けて ―地域社会の「鏡」としての議会を考える―」	① 大西 知幸議員
		人口戦略会議 副議長 増田 寛也 氏 「人口減少社会を生き抜くために」	② 十河 総子議員

① 7月8日表題の研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、議員7名が出席し、2つの講演を拝聴しました。

最近、地方議会は議員のなり手が少ないため、民間の働き盛りが1〜2期だけ議員活動をして戻れるような環境を作るべきと話されました。さらに町村議会においては84.6%が男性で、60歳以上が75%を占めている中にも変化があり、女性議員の割合が着実に伸びていて、現在13.6%になっている現状を話されました。

今後、我が国全体の人口構造は大きく変容し、大都市圏を含め、全国的に人口減少と高齢化が進行し、地方公共団体の経営資源がますます制約される一方、住民ニーズや地域課題は多様化・複雑化し、地域において合意形成が困難な課題が増大することが見込まれるとの事でした。

この現状では個々の住民利害や立場の違いを取り込む地域社会のあり方を議論

する議会の役割がより一層重要になると話されました。

この講演を聴いて、議員活動も残り2年を切り、折り返しも過ぎましたが、残りされた期間、これらのごとを今後の議員活動に活かしていこうと思えました。

（大西 知幸）



西南学院大学法学部 教授 勢一 智子 氏

② 本講演では人口減少とそれに伴う地方自治体の人手不足を背景に地方自治体の今後の方向性や政策提案が語られました。

地方自治体は従来の事業形態や枠組みを見直す必要に迫られており、AIやデジタル化を活用し、効率の良い

業務体系を形成しつつ、国、都道府県、市町村との垂直連携、市町村同士の水平連携、民間企業と事細かな協働を進め、よりの確で効果的な地域運営へ転換する時に来ており、上川管内で行われている広域連携の取組が「北海道モデル」として全国

先駆けになる可能性があるとのことでした。

講演の中で特に印象に残ったのは、定住・関係人口を増やすだけではなく、町の担い手を育成するためには、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識変革をし、若者や女性、移住者に選ばれ、担い手を育てられる地域をつくる必要があるとあり、そのためには、私達の無意識の思い込みを見直す事が重要であるという事です。

人口減少社会に対応する議会の役割は、今後ますます重要になってくると感じました。

（十河 総子）



人口戦略会議 副議長 増田 寛也 氏

### アンコンシャス・バイアスとは

自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。

組織における人事管理、業務管理を行う立場にある方は、組織や組織の構成員（職員、社員）の家庭、ひいては社会全体に与える影響が大きいことから、性別による無意識の思い込みに気づき、これを解消していく必要性が特に高いと考えられます。

- ・家事・育児は女性がするべきだ
  - ・共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ
  - ・男性は仕事をして家計を支えるべきだ
  - ・育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない など
- (北海道町村議会議員研修会資料から引用抜粋)

## 総務常任委員会の調査・活動

# 委員会レポート

### 【1】公共施設の視察について 【3月28日】

令和6年度の主な改修工事完了箇所および令和7年度以降に改修・改築が計画されている箇所について、現地調査を行った。

- ・南富良野高等学校学生寮

旧役場独身寮を改修し、学生寮として活用する計画に伴い、改修後の居室、厨房、食堂、浴室、トイレ、セキュリティー等について現地確認を行った。

- ・介護老人福祉施設一味園  
(南富良野大乗会)

開園後47年が経過した施設について現地確認を行い、利用状況や施設の現状などの説明を受けた。

- ・南富良野浄化センター(下水道終末処理場)

本年度に予定されている水処理棟の屋根及び外壁の改修箇所について現地確認を行い、併せて汚水処理工程の説明を受けた。

- ・一般廃棄物最終処分場

ゴミの集積状況および令和8年度より新築予定の用地について現地確認を行った。

### 【4月24日】

- ・物産センター

物産センターの改修工事完了後の施設状況や商品の陳列状況、さらに道の駅の24時間トイレ改築後の状況について現地確認を行った。



総務常任委員会物産センター現地確認時の様子

### 【2】上下水道料金の現状について 【5月27日】

上下水道料金の現状と料金改定の考え方について、所管課から説明を受けた。

現在、簡易水道の給水人口は2117人で、基本料金は月額8立方メートルまで1711円、超過分は1立方メートルあたり224円となっている。20立方メートル利用時の料金は4399円で、上川管内では13位、富良野沿線では1位となっている。また、簡易水道の料金改定は平成20年が最後であり、平成26年および令和2年の改定は消費税転嫁のみであった。

公共下水道は区域内人口が1597人で、基本料金は8立方メートルまで1629円、超過分は1立方メートルあたり126円となっている。20立方メートル利用時の料金は3141円で、上川管内では11位、富良野沿線では4位となっている。公共下水道の料金改定も平成22年が最後で、同様に平成26年および令和2年は消費税転嫁のみであった。

簡易水道の収支は支出に対し収入が34%、公共下水道は12%であり、いずれも大幅な赤字となっており、一般会計からの繰入金が必要な状況である。こうした厳しい経営状況

を踏まえ、令和6年度に策定した簡易水道および公共下水道の経営戦略では、令和7年度から16年度までの10年間で経営改善を図る予定である。具体的には、簡易水道については令和9年度・10年度に料金の見直しを検討し、11年度に改定の実施可否を判断、14年度・15年度に再度見直し、16年度に再度料金改定を検討するスケジュールである。公共下水道についても、簡易水道と同様の方針で、町民負担を考慮しつつ、1年遅れで実施する予定である。

料金改定の試算では、仮に令和7年度の基準外収入を全額使用料で賄う場合、簡易水道は基本料金が3370円、超過料金が1立方メートルあたり441円となり、20立方メートル使用時の料金は8662円と、現行より大幅な負担増となる。10%、15%の値上げシミュレーションでは、それぞれ基準外繰入金金が1000万円、1500万円程度削減される見込みである。

公共下水道についても同様に、全額使用料で賄う場合は、基本料金が6141円、超過料金が1立方メートルあたり478円となり、現行の約3.8倍となる。10%、15%の値上げ時には、基準外繰入金削減額はそれぞれ400万円・700万円程度と試算されている。設備更新等の計画としては、簡易水道では幾寅浄水場の更新を進めており、公共下水道については主要な施設更新が一段落したものの、今後は老朽化に応じて規模改修が必要となる見込みである。

参考にし、町民負担の軽減に努めるとともに、議会の意見を踏まえながら進めていく予定である。

委員からは、料金改定にあたっては、改定時期を早めて複数年で段階的に実施することで、町民の負担を緩和できるのではないかと、意見があった。また、施設の更新計画を併せて示す必要があるのではないかと、状況に応じて給水区域の見直しも検討すべきではないかと、指摘もあった。

(3) 町営バスの運行状況について

町営バスの運行状況および基金の運用状況について、所管課から説明を受けた。

令和5年度における町営バス運行整備費の支出総額は4902万1626円であり、この中には車両の購入費やバスシエルの整備費などが含まれている。財源の内訳は、過疎債が1960万円、富良野市管理基金からの充当分が500万円、残りの2442万1626円が一

般財源から賄われた。また、同年度にはJR北海道からのバス転換支援金として7201万6000円が交付され、この全額を基金に積み立てたことにより、資金残高は4759万4374円となった。

令和6年度の町営バス運行経費は2369万9557円であり、これに対してJR北海道からの支援金2385万8790円を充当している。その内訳は、町営バスに対して2155万8790円、デマンドバス（落合く幾寅間）に対して230万円である。一般財源に与える影響は93万2100円となったが、この全額は特別交付税で補填された。

バス転換支援金については、令和5年度に2億円、令和6・7年度にはそれぞれ1億6000万円が交付されており、令和7年度分は4月30日付で既に受領済みである。これらの支援金は、人件費および物件費が年2%増加することを前提としたシミュレーションに基づいて、令和22年度までの基金支出計画を立てている。ただし、今後の物価高騰や突発的な支出が発生した場合、計画よりも早期に基金が枯渇する可能性がある。運行実績については、町営バスのうち、金山く富良野線の年間利用者数は1152人（1日平均3.2人、乗車率0.53%）、森林公園くトマム線は1559人（1日平均4.3人、乗車率0.71%）であり、年間収入は合計110万8667円であった。また、ノースライナー号の町内利用者数は2968人で、全体の1割強を占め、前年と比べて24.6%の増加となった。

一方、デマンドバスの年間利用実績は、落合く幾寅間が777人（1日平均2.6人）、下金山く北落合間が933人（1日平均3.6人）、合計1710人であり、収入は7万8150円であった。なお、富良野バスの利用者数については把握できていない。

今後の運行方針としては、運行開始から1年が経過した段階であり、今後の利用状況を見極めながら、便数

の削減や運行形態の変更（デマンド化）などの見直しを検討する必要があると考えている。支援金を有効に活用しつつ、持続可能な運行体制の構築を目指していきたい。

（4）介護老人福祉施設のあり方について

ふくしあへの休止及び一味園への統合、新施設整備の今後の方針等について、所管課から説明を受けた。

●背景と経緯

町は高齢者福祉政策として、昭和53年に特別養護老人ホーム「一味園」を開設した。その後、平成20年に大乗会が「ふくしあ」を開設し、施設運営の効率化を図るため、平成22年に「一味園」を大乗会に経営移譲した。

難となり、令和4年7月には定員50名から30名に縮小して運営する事態となった。

職員不足とエネルギーコストの高騰が重なり、法人全体の経営悪化が懸念されたことから、大乗会理事会は令和6年3月21日に「ふくしあ」の休止と「一味園」への統合を決定した。町は4月18日に理事長より報告を受けた。

●「ふくしあ」の休止と「一味園」への統合の進捗  
統合方針決定以降、以下の対応を実施した。

- ・令和6年3月～12月  
理事会、評議員会、地域（金山民主会役員会・下金山自治連合会役員会）説明会等を開催
- ・令和7年2月1日  
北海道にふくしあの休止申請を提出
- ・令和7年2月24日  
ふくしあ入所者の一味園への移転を完了
- ・令和7年3月5日  
休止期間（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の認可を取得
- ・令和7年4月1日  
ふくしあを正式に休止し、

職員を一味園へ異動

今後、令和7年6月11日の理事会で新施設の建設規模等を協議する予定である。

●一味園の施設の現状と課題

一味園は昭和53年建設で築47年が経過しており、建物の老朽化が進んでいる。旧耐震基準で設計された建物であり、多床室（4人部屋）が多く、感染症対策やプライバシー確保の面でも課題がある。

令和元年に実施した耐震診断の結果、構造的には鉄筋腐食は確認されなかったが、経年劣化が進み、耐震性能が不十分と判断された。特に、補強が困難なコンクリートブロック壁の存在や、設備の機能劣化が指摘されたため、建て替えが望ましいとの総合判断が下された。

●財務状況

ふくしあは、開設から平成26年度まで黒字経営であったが、その後は慢性的な赤字となった。令和6年度決算では収入約7884万円に対し支出約1億6879万円で、赤字額は約8995万

円に達した。

一方、一味園も令和6年度は収入約1億7551万円に対し支出約2億4497万円、赤字は約6946万円となった。令和7年度の収支見込みでも約5872万円の赤字が予想されている。

●今後の方針

今後は、人口減少と将来的な利用見込みを踏まえて適正な定員設定を行い、稼働率向上とランニングコストの抑制により、収支バランスのとれた施設運営を目指す。新施設については、令和7年度に基本設計、8年度に実施設計、9年度に着工を予定しており、安全・安心・快適な入所環境を整備する方針である。

委員からは、新施設計画の説明に先立ち、現時点では既存施設の課題に議論を集中すべきであり、新設に関する議題は切り離し、別の機会に時間を設けて検討すべきだとの意見があった。これを受け、今回は既存施設に関する説明と議論に集中し、新設については、今後、別途取り扱うこととした。

また、ふくしあへの休止にあたっては、建設費として町の一般財源から多額の公費が投入されたにもかかわらず、町民への十分な説明がなされておらず、説明責任が果たされていないのではないかと指摘もあった。さらに、責任の所在を明確にすることが、財政基盤が弱い中で、町がどこまで支援できるのかについても意見が出された。

南富良野町議会の本会議のインターネット中継がご覧になれます。

**南富良野町議会**  
インターネット中継




# 議会の動き

令和7年5月～7月

- 5月 6日 ○ 加藤産業課長ご尊父逝去に伴う通夜焼香（富良野市）
- 8日 ○ 議会運営委員会
- 16日 ○ 南富良野町議会第2回臨時会
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 南富良野町商工会通常総会
- 19日 ○ 南富良野町自衛隊家族会総会・懇親会
- 22日 ○ 小出消防第2分団員(元町議会議員)ご母堂逝去に伴う通夜焼香（富良野市）
- 27日 ○ 総務常任委員会
- 南富良野まちづくり観光協会通常総会
- 30日 ○ 南富良野町森林組合通常総会
- 31日 ○ 上富良野駐屯地歴代部隊長を囲む会（上富良野町）
- 6月 1日 ○ 上富良野駐屯地創立七十周年記念式典（上富良野町）
- 6日 ○ 上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会（旭川市）
- 7日 ○ 南富良野西小学校大運動会
- 9日 ○ 金強元町議会議員逝去に伴う通夜焼香（富良野市）
- 10日 ○ 北海道町村議会議長会定期総会及び議長・事務局長研修会（札幌市）
- 12日 ○ 議会運営委員会

- 6月 18日 ○ 南富良野町議会第2回定例会
- ～ 20日 ○ 議会運営委員会
- 全員協議会
- 総務常任委員会
- 議会広報特別委員会
- 29日 ○ 北海道消防協会上川地方支部富良野分会消防総合訓練大会（富良野市）
- 7月 2日 ○ 富良野沿線市町村議会議長会総会（上富良野町）
- 6日 ○ 南富良野消防総合演習
- 7日 ○ 南富良野町戦没者追悼式
- 8日 ○ 北海道町村議会議員研修会（札幌市）
- 9日 ○ 全員協議会
- 18日 ○ 南富良野町議会第3回臨時会
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 26日 ○ かなやま湖湖水まつり（かなやま湖太陽と森と湖の祭典）
- 30日 ○ 富良野地方自衛隊協力会南富良野支部定期総会



かなやま湖湖水まつり（かなやま湖太陽と森と湖の祭典）

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会の開会予定は9月17日(水)～19日(金)です。

町議会は、定例会が年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。議会の傍聴は町政の運営状況や議員の活動状況を知るよい機会です。定例会では議案審議のほかにも、議員が行政に質問をする「一般質問」も行われますので、お気軽にお越しください。皆様の傍聴をお待ちしております。

会議中継映像をインターネット（ユーチューブ）で動画配信しています。生中継と録画配信をしております、いつでも視聴できますので、ぜひご覧ください。

※録画配信されるまでに時間がかかる場合があります。

表紙の写真（町の風物詩【盛夏】）



落合地区にて、6月30日に、落合八幡神社の鳥居に取付けるしめ縄用のスゲ草の刈取が行われ、7月11日にしめ縄作りが行われました。

官設鉄道十勝線が落合まで開通した明治34年に、通称「降神山」の頂上に神社が設けられ、大正7年ごろ拜殿が建立、その後鳥居が建てられました。日露戦争祝勝会がこの神社を抛り所に盛大に行われた事、往時の神社祭典には花柳界の芸妓が山車に乗り、踊りながら練り歩いた等の記述が残っています。（南富良野町史下巻より）

今は落合地区を見守る静かな神社ですが、毎年恒例のしめ縄作りの際は、住民に歴史に触れさせる機会を与えてくれています。